

当別高校生が当別町を学ぶ CLASSプロジェクト

CLASSプロジェクトとは

北海道教育委員会では、地域と学校との連携・協働体制を整備し、活動を通じて「まち・ひと・しごと」と「学び」とのつながりづくりに貢献できるよう、令和3年度から「北海道 CLASS プロジェクト（地学協働活動推進実証事業）」を進めており、当別高校を含む4校が推進校に指定されています。

当別高校では、地域コーディネーターとして任命された松岡宏尚^{ひろたか}さんを中心に、高校と地元自治体や商工業者などが連携・協働するコンソーシアムを構築する研究を行っており、当別町独自の持続可能な地域づくりの担い手を育成することを目標としています。

2年目の本年は、1年生は地域を知ること、2年生は地域の課題解決や魅力の伝え方のカリキュラムの実証事業を行っています。今回は1年生の地域を知る取り組みを中心に、CLASS プロジェクトをご紹介します。

1年目
プロジェクトチームや
コンソーシアム立ち上げ
カリキュラム検討

2年目
コーディネーターを
活用して地域資源を
活かした実践活動

3年目
総合的な探究の時間を
軸とした持続的な
連携・協働体制の確立

地域を知るために・・・

1年生は当別町を知るために、地域の方々を講師に招いて講義や体験、ディスカッションを行いました。

04/27 開拓の歴史を学ぶ

当別神社後藤宮司から当別の開拓の歴史を学びました。



05/06 当別の今を知る

役場企画課の職員から当別町の現状について、お話を聞きました。



05/13 地域の課題は？

町内で働く大人8名と、地域の課題をテーマにディスカッションを行いました。



07/01 芸能文化を学ぶ

とべのすけすずめ踊り隊の皆さんとすずめ踊りを学びました。



学校から地域に飛び出そう！

09
16

当別の地域を知るフィールドワーク

当別町をより良く知るため、5コース8チームに分かれて、町内を学ぶフィールドワークを行いました。

国王も来たことがある！
スウェーデンコース



スウェーデンヒルズ
→スウェーデン交流センター

未来を作る
教育を学ぶコース



とうべつ学園
→北海道医療大学

開拓精神を学ぶ
歴史見学コース



当別神社
→伊達記念館

当別物産品
学びコース

ロイズコンフェクト
→北欧の風道の駅とうべつ



当別商店街
コース

コース①
並川はなや
→滝の湯
→旧・カネヨ
よねぐち呉服店
→瀬戸商店
→小林商店
コース②
喫茶ここ
→Cafe&Kitchen
オフィスア
→藤澤製菓
→ジビエ工房
Deer Shop



10
21

フィールドワーク報告会

フィールドワークで学んだことを動画で紹介。動画の合間にCMを入れたり、紹介ポスターを作るなど、まちの魅力発信にもチャレンジしています。



持続可能な地域づくりの担い手となるために

当別高校では、CLASS プロジェクト3年目となる令和5年度で、高校在学中の3年間で地域を知り、地域の課題を見つけ、解決する能力を身につけることができるカリキュラムの確立を進めます。

今後は、CLASS プロジェクトを通じて、地域の中で生徒が主体性をもって取り組むことができる機会の創出や、生徒の挑戦・成長意欲を学校や地域でサポートできる環境の構築を進める予定です。

1年生

地域を知る

2年生

課題を見つける
魅力を伝える

3年生

地域の課題を
解決する

当別独自の持続可能な
地域づくりの担い手へ